

**製品名: PGLYRP1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16038**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	21kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PGLYRP1
別名	PGLYRP1; PGLYRP; PGRP; TNFSF3L; SBBI68; Peptidoglycan recognition protein 1; Peptidoglycan recognition protein short; PGRP-S
遺伝子 ID	8993.0
SwissProt ID	O75594
免疫原	抗血清はヒト PGLYRP1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

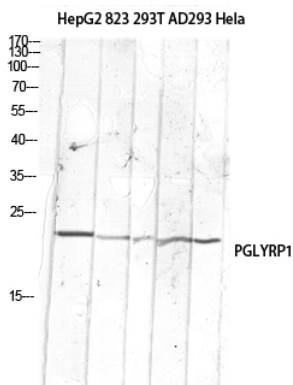
**背景**

PGLYRP1 (ペプチドグリカン認識タンパク質 1) はタンパク質コード遺伝子です。関連パスウェイには TNF シグナル伝達 (sino) などがあります。この遺伝子に関連する GO アノテーションには、ペプチドグリカン結合と N-アセチルムラモイル-L-アラニンアミダーゼ活性が含まれます。この遺伝子の重要なパラログは PGLYRP4 です。ペプチドグリカン代謝過程、多糖類分解過程、多糖類代謝過程、アミノグリカン代謝過程、アミノグリカン分解過程、グリコサミノグリカン分解過程、防御反応、免疫反応、行動、リズム行動、概日リズム、高分子分解過程、ペプチドグリカン分解過程、外部刺激の検知、生物刺激の検知、細菌への反応、細菌の検知、炭水化物分解過程、概日睡眠覚醒周期過程、グリコサミノグリカン代謝過程、細菌への防御反応、概日睡眠覚醒周期、概日睡眠覚醒周期の調節、概日リズムの調節、自然免疫反応、概日睡眠覚醒周期の調節、睡眠、リズム過程、概日行動、行動の調節、グラム陽性菌への防御反応細菌、刺激の検出、

## 研究分野

細胞生物学、アポトーシス、受容体、関連タンパク質、神経科学、神経プロセス、概日リズム、ホルモン、微生物学、タンパク質、ヒトタンパク質、デフェンシン、免疫学、自然免疫、サイトカイン、がん、細胞死

## 画像データ



PGLYRP1 抗体を用いた HepG2 823-AV 293T AD293 Hela 細胞溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈。二次抗体は 1:20000 に希釈。